
すごろくで防災意識を 高めることはできるか



研究の目的

学校で行われる避難訓練は学校で災害が起きたときの対処法であると感じた

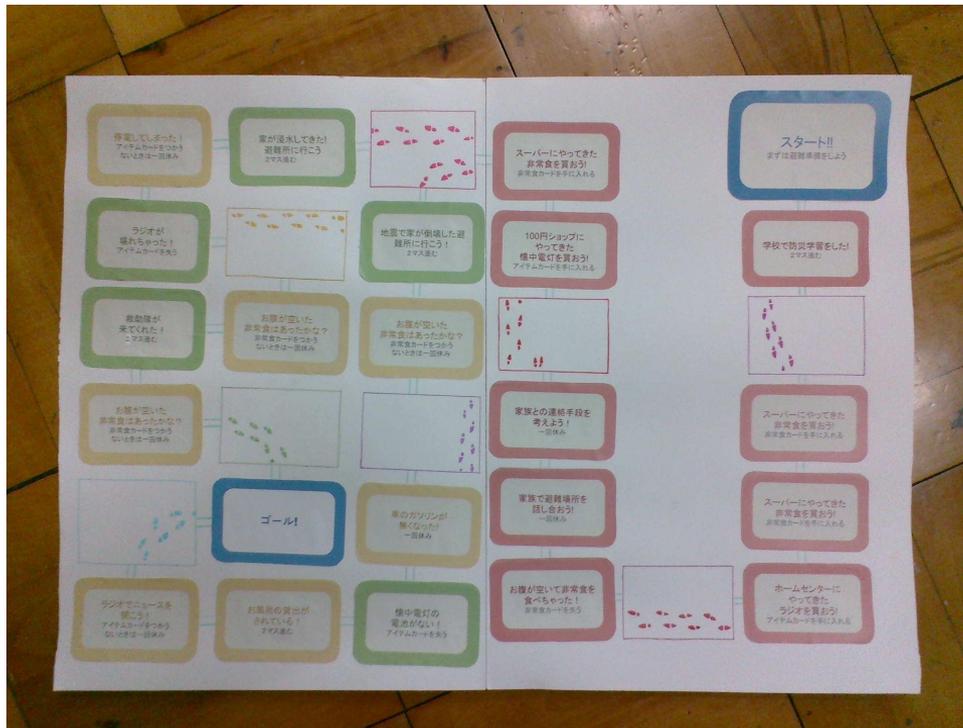
そこで家庭や自分の身の回りで災害が起きたときのシュミレーションを遊びながら学習したいと思った



仮説

すごろくを使うことで家族や友達と遊びながら防災意識を高めることができる

研究内容



ルール

前半準備パートと後半災害パートに分かれてる。災害パートは水害や地震などのコースを選択できるようになっている

準備パートでは止まったマスの指示に従ってアイテムカードを入手したり、自分の避難場所を調べたりする

災害パートでは準備パートで手に入れたカードを駆使して止まったマスのイベントを解決しながらゴールを目指す

<http://plus-arts.net/info/>
<https://suumo.jp/journal/2019/07/06/165468/>
<https://kao-line.com/archives/929>



遊んだ人の感想

・Sさん「短い時間で遊べるのがいいと思った。自分で考えながら進められたのがいいと思った。」

・Aさん「短時間でできるから子供が飽きずにできるし、カードを使ったりするから大人でも楽しめると思った。」



遊びながら勉強するメリット

ア・頭を使う癖がつく

遊びと勉強の境目が曖昧になり、日常生活で頭を使うようになる

イ・勉強への抵抗がなくなる

楽しいことや自分の好きなことは自然と頭に入る

ウ・賢くなる

遊びながら勉強することで自然と勉強時間が増える

<https://seshiminblog.com/asobinagarabenkyou/>



結論

すごろくで遊びながら防災にふれることができる

家族で家庭の防災対策について考える切っ掛けになる



自分で考えたり楽しみながらすることで防災意識の向上と記憶の定着ができることがわかった

考察

小学校での学習や学童などで使ってもらいたい

このすぐろくのアイディアを使ってデジタルゲームのようなものを作ってみたい

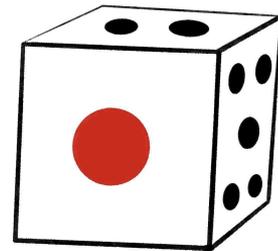


もしもゲームを作ったら、、、

スタート!!



サイコロをふろう!



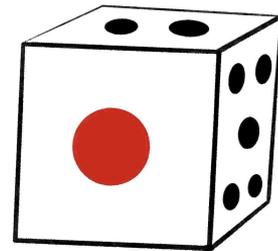
TAP

3マス目

ホームセンターに
やってきた
ラジオを買おう!
アイテムカードを手に入れる



ラジオを手に入れ
たよ!
残り77マス



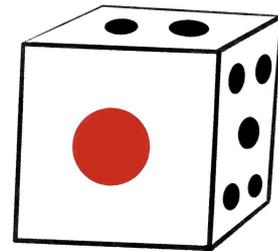
TAP

52マス目

家が浸水してきた!
一回休み



救助を待とう
残り18マス



TAP

ゴール

楽しみながら
防災の知識が
身についたよ

